

科目名	インターンシップ						年度	2026	
英語科目名	Internship						学期	後期	
学科・学年	機械設計科 2年次	必/選	選4	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	インターンシップ先企業担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		人事・人材育成・各技術職 能担当		

【科目の目的】
 実際の就業体験を通じて、仕事や企業、業界、社会への理解を深める。

【科目の概要】
 企業で就業体験することで、仕事への取り組み方や考え方を学びます。作業現場での人間関係なども体験する。

【到達目標】
 キャリアデザイン系の科目で学んだ社会人・組織人としての行動やマナーの基礎をもとに、実践的に社会人としてのマナーや基礎知識、新しい技術の進展に対応できる柔軟な思考と創造性の習得をめざす。インターンシップで企業・社会の仕組みを実体験することで、職業選択の際に役立てることが出来るようになることを目標とする。

【授業の注意点】
 必ず事前にインターンシップ企業、担当者、実施時期を教員に申し出を行い許可を得ること。事後、もしくは既にインターンシップ開始後に申し出た場合、単位認定はできない。参加者は、必ずインターンシップ保険に加入のこと。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A (総合)	仕事や企業、業界、社会への理解が深まった	仕事や企業、業界への理解が深まった	仕事や企業への理解が深まった	仕事への理解が深まった	仕事に対する理解が出来ていない
到達目標 B (目標の構築)	自身の将来の目標が明確に定まり、実現に向けた行動を起こしている	自身の将来の目標を明確に定めることができた	自身の将来の目標の方向性が定まった	自身の将来の目標が不明瞭	自身の将来の目標を全く描くことが出来ない
到達目標 C (ビジネスコミュニケーション)	TPOに合わせてビジネスコミュニケーションを使い分けることができる	ビジネスコミュニケーションを理解し指示を受けたら実践できる	不特定多数の人と多様な価値観を持ってコミュニケーションをとることができる	特定の人とのみコミュニケーションをとることができる	人と正確なコミュニケーションをとることができない
到達目標 D (ビジネスマナー)	TPOに合わせたビジネスマナーを自発的に実践できる	ビジネスマナーを理解し自発的に実践できる	ビジネスマナーを理解し指示を受けたら実践できる	ビジネスにおける身だしなみを実践できない	ビジネスにおける言葉遣いの使い分けができない
到達目標 E (自己分析)	自身の適性を理解し、企業の選考に挑戦している	自身の適性を理解し、企業の選定が済んでいる	自身の適性を理解し、企業調査を行っている	自身の適性を俯瞰的に理解している	自己分析が出来ておらず、自身の適性が解らない

【教科書】
 オリエンテーション時に配布する「実習要項」を熟読のこと。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
 授業は、オリエンテーション時の講義、および実技指導時における学生の参加姿勢を対象として評価を行う。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		インターンシップ			年度	2026
英語表記		Internship			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インターンシップ準備	自発的に企業とビジネスコミュニケーションをとる	1 企業選定	自発的に企業選定を行うことができる	2	
			2 アポイントメント	企業へ訪問の予約を自発的にとることができる		
			3 訪問準備	訪問企業研究を行い準備を進めることができる		
2	インターンシップ	仕事や企業、業界、社会への理解を深める	1 インターンシップ先に準備する	インターンシップ先に準備する□	2	
3	↓	↓				
4	↓	↓				
5	↓	↓				
6	↓	↓				
7	↓	↓				
8	↓	↓				
9	↓	↓				
10	↓	↓				
11	↓	↓				
12	↓	↓				
13	↓	↓				
14	↓	↓				
15	↓	↓				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等